

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和6年度事業分)

施 設 名 山梨県立フラワーセンター
 所 管 課 農政部 食糧花き水産課
 指定管理者 株式会社ハイジの村

1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度						
指定管理者名		出資法人	指定期間			委託料総額 (単位:円)	
株式会社ハイジの村			H18.4.1	～	H21.3.31	3年	
株式会社ハイジの村			H21.4.1	～	H26.3.31	5年	
株式会社ハイジの村			H26.4.1	～	H31.3.31	5年	
株式会社ハイジの村			H31.4.1	～	R5.3.31	4年	68,496,667
株式会社ハイジの村			R5.4.1	～	R9.3.31	4年	45,932,000

2 施設の概要

所 在 地	北杜市明野町浅尾2471
設 置 年 月 日	平成10年8月6日
設 置 根 拠 (法 律 、 条 例 等)	山梨県立フラワーセンター設置及び管理条例
設 置 目 的	県民に花とふれあう機会と自然に親しむ場を提供するとともに、花きの生産の振興に資するため、フラワーセンターを設置する。
主 な 業 務 の 内 容	(1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (3)花きの植栽、展示及び提供に関する業務 (4)花きに関する講習会及び催しの実施に関する業務
主 な 施 設 内 容 (定 員 等)	○敷地面積 約15.8ha ○建築延面積 3,681㎡ ○建物の構造 ・鉄筋コンクリート造り(一部鉄骨造り) 地上1階建、地上1階・地下1階建、地上2階・地下1階建、 地上3階・地下1階建 ○施設の内容 ・センタープラザ(建物施設) ・ガーデンエリア(花壇、芝生広場、屋外トイレなど) ・園外エリア(駐車場、屋外トイレ、直売所、アプローチ道路など)
備 考 (改築工事等の状況、 一括管理施設 等)	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和6年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
収入合計	139,581,163	140,022,341	181,230,791	191,949,497	229,908,094	
支出合計	164,279,695	182,375,983	244,365,777	256,175,512	256,389,865	
収支差額	△ 24,698,532	△ 42,353,642	△ 63,134,986	△ 64,226,015	△ 26,481,771	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
利用実績	78,365人	87,741人	128,101人	121,656人	134,184人	入園者数
利用者 満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和6年度)

施設及び設備器具の維持保全にあたり、基本協定書・仕様書・事業計画等に基づき、専門業者による法定点検と職員による日々の定期点検を実施し、定期報告書を県に提出し確認を受けている。
令和6年度は、一般客の減少はあったが、その分団体客は増加した為、入園者数が昨年と比べて増加した。昨年に引き続き、広報活動やイベントの実施により集客に努めた。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和6年度)

利用者の安全性確保の観点から、法令に基づく点検を徹底すること。また、改善が必要な箇所については対策を行うこと。併せて、避難訓練等による従業員の危機管理意識向上に努めること。
施設の修繕については、県と協議を行い、優先順位を決めて計画的に実施すること。
運営業務については、業務計画書に基づき適正に行われていた。
利用状況については、県内外の新聞等を活用し積極的に広報活動を行い、季節ごとのイベントを実施するなど集客に努めた結果、団体客が増加し、昨年度に比べて入園者数が増加した。引き続き講習会や常設教室等のサービス水準向上や、魅力あるイベントの企画・PR等により施設の利用促進を図ること。
定期評価結果については、上記のとおり利用促進を図るとともに、県産花きの魅力を発信する企画等、更なる集客や、花き生産の振興に努めること。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和6年度)

安全管理マニュアルの見直しを定期的に行うとともに、避難経路の確認や消火器の訓練等、安全確保を重視した避難訓練を実施した。
広報活動等に力を入れ、集客に努めた。また、イベント情報など県内新聞だけでなく、県外新聞にも広告を掲載し県外からの集客に努めた。毎月のプライダルフエアの実施やSNSへの投稿を行い、今後も継続して集客を行っていく。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

施設名 山梨県立フラワーセンター
所管課 農政部 食糧花き水産課
指定管理者 株式会社ハイジの村

1 利用状況 (単位:人、%)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	入園者数	78,365	87,741	128,101	121,656	134,184
	利用者数合計	78,365	87,741	128,101	121,656	134,184
	目標値	223,953	150,000	160,000	150,000	150,000
	実績/目標割合	35.0%	58.5%	80.1%	81.1%	89.5%
	目標値の設定方法	過去5年間の実績、管理者の努力目標などをもとに、入園者数の目標値を設定した。ただし、令和3年度については、新型コロナウイルスの影響を考慮し、過去5年間の実績の約80%に設定。				
利用率	稼働率等(利用率)	260人/日	274人/日	362人/日	344人/日	380人/日
	稼働率等(利用率)の算定方法	利用人数/営業日数(353日)				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	
----------	--

3 補修工事等の状況(令和6年度) (単位:円)

県 周回道路改修工事	5,720,000
県 遊具撤去工事 外1件	2,086,700
管 2024年6月点検時不備箇所改修工事	374,000
管 アルム小屋、入園口、隠れ家漏水修繕	355,300
管 プロジェクター修繕 外34件	1,930,989

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件60万円未満の修繕等は指定管理者が実施
*ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和6年度) (単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額
2	随意契約	売上の24%	38,210	
3	随意契約	売上の30%	195,375	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

5 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収 入	A 収入額計	139,581,163	140,022,341	181,230,791	191,949,497	229,908,094
	施設利用料	30,368,200	35,796,880	51,106,150	41,369,280	40,237,320
	指定管理委託料			8,092,000	3,463,695	4,642,703
	追加委託料(感染症)	31,799,081	18,961,666			
	自動販売機収入	111,640	141,118	259,523	225,471	233,585
	商品売上	21,394,170	23,955,231	37,087,853	40,618,251	46,482,927
	花き売上	8,264,331	8,945,219	12,693,988	13,262,155	12,935,606
	飲食売上	44,689,241	45,364,367	71,820,577	90,911,915	123,550,652
	その他売上	954,500	657,860	170,700	2,098,730	1,825,301
	その他	2,000,000	6,200,000			
支 出	B 支出額計	164,279,695	182,375,983	244,365,777	256,175,512	256,389,865
	人件費	62,859,877	67,855,244	84,584,020	80,299,024	75,101,092
	修繕費	2,163,591	1,433,791	1,660,877	4,447,475	2,660,289
	光熱水費	12,517,618	15,199,373	23,852,394	21,208,531	22,289,815
	仕入れ合計	31,225,276	38,748,252	60,489,074	75,206,589	83,348,425
	法定福利費	5,975,047	4,653,920	6,088,535	6,895,845	6,010,931
	福利厚生費	1,584,688	1,972,803	2,179,535	2,016,536	1,865,622
	旅費交通費	2,590,657	2,610,299	3,421,546	2,886,549	2,000,221
	賃借料	1,899,098	1,579,463	2,039,633	2,472,839	2,658,719
	保険料	945,200	775,440	692,760	864,660	748,940
	消耗品費	13,519,953	14,112,476	14,954,666	17,022,966	16,274,804
	広告宣伝費	10,183,264	12,425,523	14,895,203	11,846,834	7,911,428
	支払手数料	3,123,507	3,023,100	5,479,241	7,087,379	10,485,436
	著作権使用料	3,328,221	3,332,854	3,226,416	3,369,803	3,237,418
	催事費	85,000	70,000	100,000	210,000	720,000
	通信費	948,440	967,714	991,343	1,028,324	1,115,261
	租税公課	464,000	147,960	399,122	446,660	424,000
	管理諸費		47,300		264,000	423,500
	その他	4,252,836	4,601,419	3,839,408	3,866,336	4,052,675
	外部委託費	6,613,422	8,819,052	15,472,004	14,735,162	15,061,289
	清掃業務	1,732,500	2,009,700	2,329,800	1,841,400	2,617,120
	警備業務	1,049,400	1,249,600	2,172,005	1,451,450	1,333,200
	保守点検業務	2,187,240	2,542,100	2,099,900	2,550,900	2,318,800
	廃棄物処理	528,528	668,052	706,464	1,466,960	1,003,517
	植栽業務	105,954	1,329,900	7,134,235	6,207,852	6,843,320
	集配業務	1,009,800	1,019,700	1,029,600	1,216,600	945,332
	外部委託比率	4.0%	4.8%	6.3%	5.8%	5.9%
	県への納付金					
収 支 差 額 (A - B)		△ 24,698,532	△ 42,353,642	△ 63,134,986	△ 64,226,015	△ 26,481,771

一人当たりの収入額 * 1,781.2 1,595.9 1,414.7 1,577.8 1,713.4

* 収入額計÷利用者数(単位:円)

一人当たり指定管理者委託料 * 405.8 216.1 63.2 28.5 34.6

* 指定管理者委託料÷利用者数(単位:円)

(参考)自主事業に係る収支状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
C 収入額計	248,600	1,019,223	7,726,897	2,895,782	4,580,969
D 支出額計	3,269,331	4,912,056	8,540,344	6,278,886	5,719,674
収 支 差 額 (C - D)	△ 3,020,731	△ 3,892,833	△ 813,447	△ 3,383,104	△ 1,138,705

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

6 自主事業の実施状況

	事業名	対象者	実施場所
1	ブライダル事業	一般	フラワー工房棟 屋外芝生
2			
3			
4			
5			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

7 利用者満足度

実施方法等	実施時期:令和6年4月1日～令和7年3月31日まで 実施方法:来場者へのアンケート 回答数:885名			
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
園内の清掃について	66.5%	28.7%	3.7%	1.1%
園内の植栽について	60.2%	31.5%	6.3%	2.0%
温室展示や花き販売について	60.3%	33.8%	4.6%	1.3%
イベントについて	53.2%	36.1%	8.1%	2.6%
施設全般の満足度	60.3%	32.4%	5.6%	1.7%
利用者の主な意見	【施設・設備】 ・チューリップが綺麗だった。 ・バラが見事だった。 ・イルミネーションが楽しかった。 ・街並みが楽しめた。 ・犬が大喜びだった。 【動物の管理】 ・ウサギが寒そうだった。 ・ヤギのユキちゃんが可愛かった。			
利用者の意見への対応	【施設・設備】 ・さらに植栽に力を入れ、来園頂いたお客様に喜んで頂けるよう努めた。 ・園内点検の回数を増やし、園内美化に取り組んだ。 【動物の管理】 ・動物の小屋の改装を計画しており、衛生管理や温度管理を心がける。 ・動物の小屋の清掃は定期的に行っている。			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

8 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	法定点検、機械設備点検を適切に行い不具合があった場合には、速やかに修繕を行った。 また、消防訓練では、利用者の施設内における避難経路、安全性確保を重視した避難訓練を実施し、通報訓練、消火器の使用訓練等、従業員の危機管理意識を高めた。	法令に基づく点検を徹底すること。 業務仕様書及び業務計画書等に基づき、日常点検、必要に応じた修繕等、施設の維持管理業務が適切に実施されている。 利用者の安全確保や災害時等の対応を念頭に、継続して各種訓練を実施すること。
運営業務	毎年好評のアルプホルン演奏会、ジェルキャンドル作り、ラベンダースティック作りなど季節ごとのイベントを実施した。 園内の花を使った常設のドライフラワー体験教室を積極的にアピールし、体験教室を通して、花に親しむ場を提供できた。	業務計画書に基づき、適正に業務が行われていた。季節ごとのイベントやドライフラワー体験教室、エディブルフラワー等について、県内の新聞に加え、県外の新聞にも広告を掲載し、積極的にPRを行い県内外の集客に努めた。 今後も県内だけでなく県外からの利用者の増加を見据え、団体・個人客ともにより質の高いサービスの提供に努めていくこと。
利用状況	入園口で来園者に対してイベントやハイクの村園内のおすすめスポットなどを掲載した。 また、集客につなげるため、桔梗屋グループ直営店、関連企業、取引先企業などに、チラシやパンフレットを配布した。	イベントの実施、県産食材やエディブルフラワーを使用したメニューの提供等、利用者の満足度向上に取り組むとともに、様々なメディアを活用して情報発信し、利用促進に努めた。 今後も、利用者数の増加や花きの消費拡大に向けた魅力ある企画や効果的な広報活動を実施すること。
収支状況	広報活動による施設のアピールを行い集客につなげたり、桔梗屋グループとの協力体制により、従業員の雇用を継続しながらの人員配置見直しを行ったり、水道光熱費、消耗品等の無駄を無くすことに努めた。	グループ会社と連携した広報活動や人員配置等により経費削減を図りつつ、仕入れやサービスの強化に努めた。 利用者数は令和5年度に比べて増加しているため、今後も収支状況の改善に向け、更なる集客やサービス提供に努めること。
自主事業	ブライダルフェアを実施し、お客様への積極的なアピールを行った。相談件数や問い合わせも増えている。	ブライダルフェアについて積極的にPRを行い、自主事業の利用拡大が見られた。 今後も季節ごとの花やロケーション等、施設の特徴を活かした企画を検討し、フラワーセンターの魅力向上及び更なる利用拡大に努めること。
利用者満足度	施設全般の満足度では、昨年と比べ高い評価を頂いたが、お客様からの御意見を基に、さらに満足度を上げられるよう努めていく。	アンケート調査の結果、昨年と比較し、全項目について満足度が向上しており、各種イベント・企画、園内美化等に取り組んだ結果と見られた。 今後も、利用者の意見や要望を踏まえながら改善策を検討し、質の高いサービスの提供に努めること。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

9 施設所管課による定期評価結果

施策推進 業務の内容	評価	改善内容
施設の利用 促進業務	施設の利用促進を図るため、個人客・団体客を含む年間利用者数を評価指標とし、過去5年の実績から150,000人を目標に設定した。 目標値は達成できなかったが、様々なメディアでの施設情報の発信や自主事業のPR等、施設の利用促進に努め、昨年度よりも利用者数は増加した。	実績が目標値を下回った要因の一つとして、集客が見込まれる時期の悪天候が考えられる。 今後、更なる利用促進に向け、園内の植栽・イベント等の強化に取り組むとともに、質の高いサービスの提供や効果的な広報活動に努めること。
花きの生 産の振興	県内花き生産の振興のため、使用する花苗等の仕入れ先について、県内割合80%以上を目標値として設定した。 目標値は達成できなかったが、仕様書に定める基準値50%を超える52%となり、県内生産者組織との連携により、大規模飾花用の花壇苗等、県内で生産された花きが多く利用された。	県内での生産が少ない又は生産されていない花などについては、県外から仕入れている状況である。 更なる花き生産の振興を図るため、生産者組織等との連携を深め、地消地産を念頭に県産花きの利用に積極的に取り組むこと。 併せて、利用者に県産花きの魅力を発信する企画を検討するなど、更なる花き生産の振興に努めること。
利用者の花 きへの理 解・関心の 向上	利用者の花きへの理解・関心の向上を図るため、利用者アンケートにおける温室展示や花き販売、イベントについての満足度を評価指標とし、目標値は80%に設定した。 イベントや各種講習会等の実施により、実績値が92%と目標を達成した。	更なる理解・関心の向上を図るため、例年好評のイベント、講習会等を継続するとともに、ニーズやトレンドについて情報収集を行いながら企画、イベントを実施すること。 また、花の少ない時期やイベントの実施がない日などについても満足度を高めるため、常設の企画、体験等についても検討すること。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

10 管理体制(組織図)

令和6年4月1日現在

